



ビジネスアナリシス知識体系(BABOK)の解釈

— IIBA日本支部WG活動を通して —

1. 昨年5月のおさらい (BABOK概要)
2. BABOK疑問点の解説(FAQ集より)
3. BARC-NETのご紹介
4. 今後のBABOK

2011/7/20

ITコンサル&デザインラボ株式会社
村田茂之 mail (smurata@condlabo.jp)



1. 昨年のおさらい

昨年とは、2010年5月27日「BABOK(Business Analysis Body of Knowledge)2.0 について」 KB マネジメント社清水千博様による。

1-1. IIBAとBA概要

▼IIBA™(International Institute of Business Analysis)は

国際的かつ中立的立場でビジネスアナリシスの啓蒙を行う非営利団体です。IIBAはビジネスアナリシス、システムアナリシス、要求分析、プロジェクトマネジメント、コンサルティング、プロセス改善など様々な領域での円滑な業務推進を支援します。IIBAは8カ国28名のメンバーにより2003年10月に設立されました。2006年にはカナダで非営利活動法人に認定され、本拠地をカナダのトロントに決めました。100あまりの支部を国際的に展開し、会員数は7,000名を超えます。IIBAは理事会、上級リーダーシップ・チームおよび複数の委員会から構成され、委員会は多くのボランティアによって運営されています。さらに、各支部の支えるボランティアはその地域で活動するビジネスアナリスト同士が知り合う場を提供することに力を入れています。

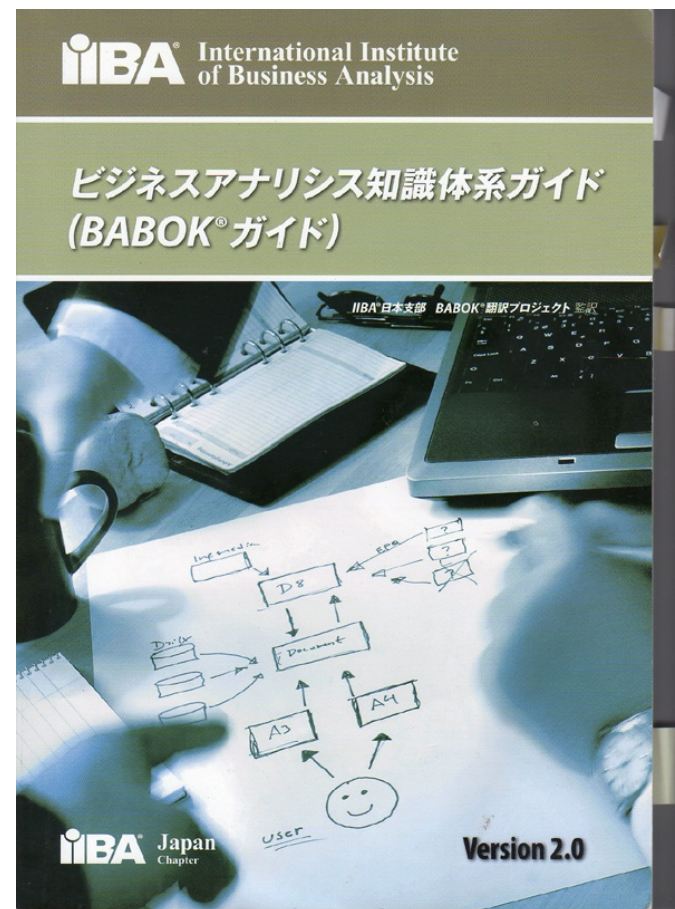
▼ビジネスアナリストとは

ビジネスアナリストは、様々なビジネスプロセス、ポリシーそして情報システムへの変更要求を引き出し、分析し、コミュニケーションをとり、そして妥当性確認をするためにステークホルダー間をつなぐ役目を果たします。ビジネスアナリストは、ビジネスの問題点とビジネスの機会を要求事項の観点から把握し、組織がその目標を達成できるようにソリューションを提案する専門家です。ビジネスアナリストとは、時にまとめ役であり、聞き役であり、調査者であり、ファシリテーターであり、コミュニケーターであり、協力者であり、革新者であり、さらにそれ以上の役割を持っています。

▼なぜ、BABOKなのか？

情報システムプロジェクトの失敗の原因に要求分析の不備によるものが増加しています。

具体的には、ステークホルダーは情報システムで実現しようとする条件や機能をRFPに書けない。ITベンダーはステークホルダーが必要とする要件を洗い出せないため、要求定義が不十分で要件追加による納期の遅延、品質の悪化などが発生するわけです。これがプロジェクト失敗に至る典型的なパターンとなっており、今や世界中で同じことが起こっています。こうした失敗プロジェクト撲滅に向け、このプロセスの知識体系を明確化させたのがBABOKになるわけです。



1-2. IIBA認定 制度

International Institute of Business Analysis (IIBA)は、ビジネスアナリシス(以下、BA)の実践に関するスタンダードの開発と保守、およびBAを実践する人々の認定と承認に全力で取り組んでいます。IIBAはBAの専門家を公式に認定した最初の組織です。詳しくは専門性を認定するメリットを参照してください。

▼ CCBA™ (Certification of Competency in Business Analysis™)

CCBA™は、ビジネスアナリストとしての経験が認知され、そのキャリアのマイルストーンを達成したいと願うビジネスアナリストの実践者のための資格です。CCBAを取得することにより、ビジネスアナリストとしてのスキルと、大きな責任を担う能力が実証されます。私たちは、CCBAの認定が、ビジネスアナリストのための業界標準となることを願っています。

- 過去7年間に『BABOK®ガイド』の内容に合った3,750時間以上の業務経験があること
- 6つの知識エリアのうち2つ以上の知識エリアで900時間以上、または6つの知識エリアのうち4つ以上の知識エリアで500時間以上の経験があること
- 4年以内に21時間以上の専門能力の教育を受けていること
- 上司、クライアントまたはCBAP®資格保有者のいずれかによる2通の推薦状があること
- 「行動規範」(Code of Conduct)にサインすること

CCBA™試験が日本語で受験できるようになりました。

▼ CBAP® (Certified Business Analysis Professional™)

CBAP®は、さまざまな規模や複雑さを持つプロジェクトにおいて、スキルと専門知識を使ってBAワークを行う、上級ビジネスアナリストのための資格です。CBAP®を取得すれば、雇用者からの信頼が得られ、収入アップも見込まれます。またBAコミュニティにおいても精鋭メンバーと見なされるでしょう。

- 過去10年間に『BABOK®ガイド』の内容に合った7,500時間以上の業務経験があること
- 6つの知識エリアのうち4つ以上の知識エリアで900時間以上の業務経験があること
- 4年以内に21時間以上の専門能力の教育を受けていること
- 上司、クライアントまたはCBAP®資格保有者のいずれかによる2通の推薦状があること
- 「行動規範」(Code of Conduct)にサインすること



1.3 BABOK 2.0 知識体系エリア

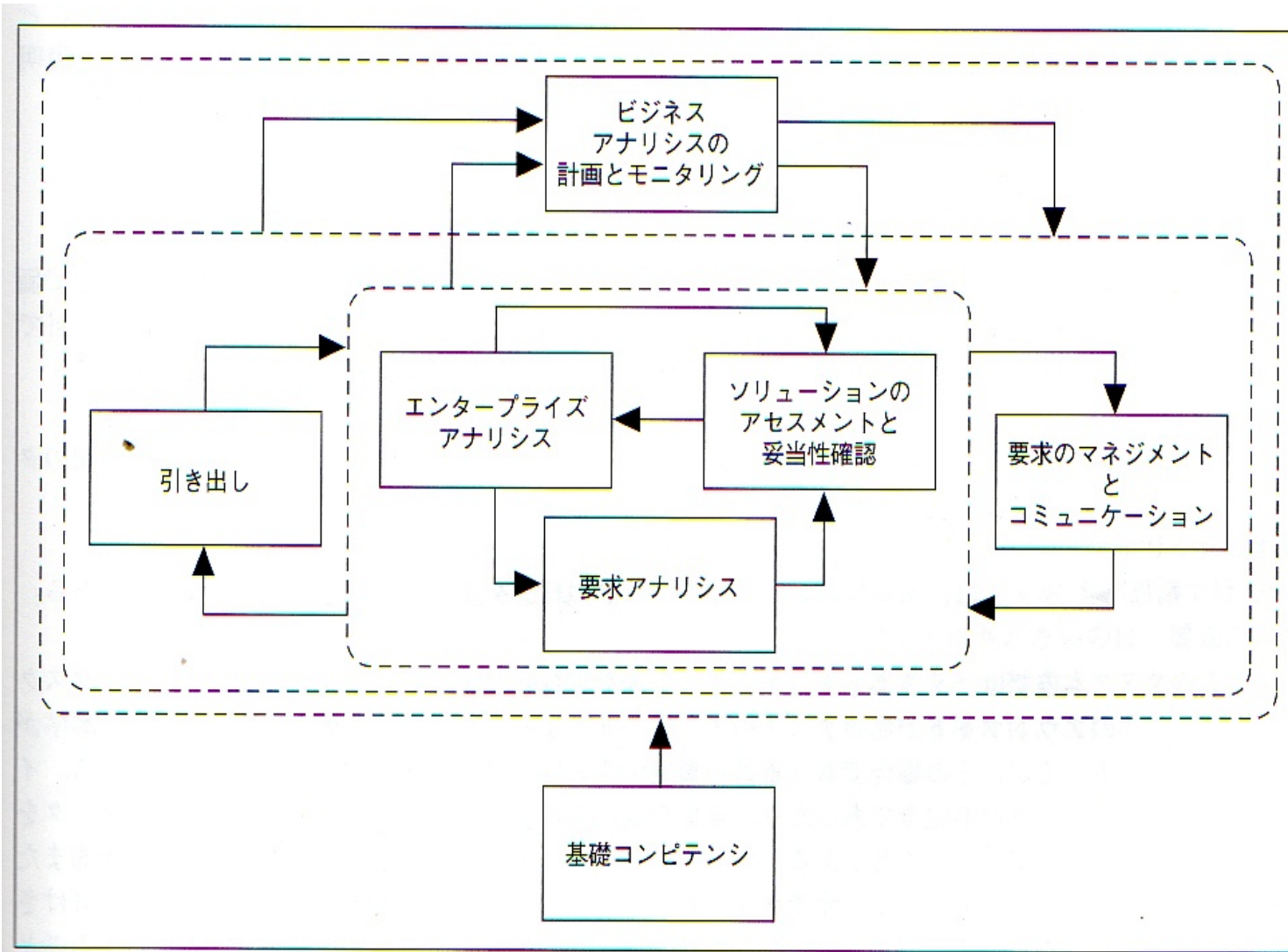
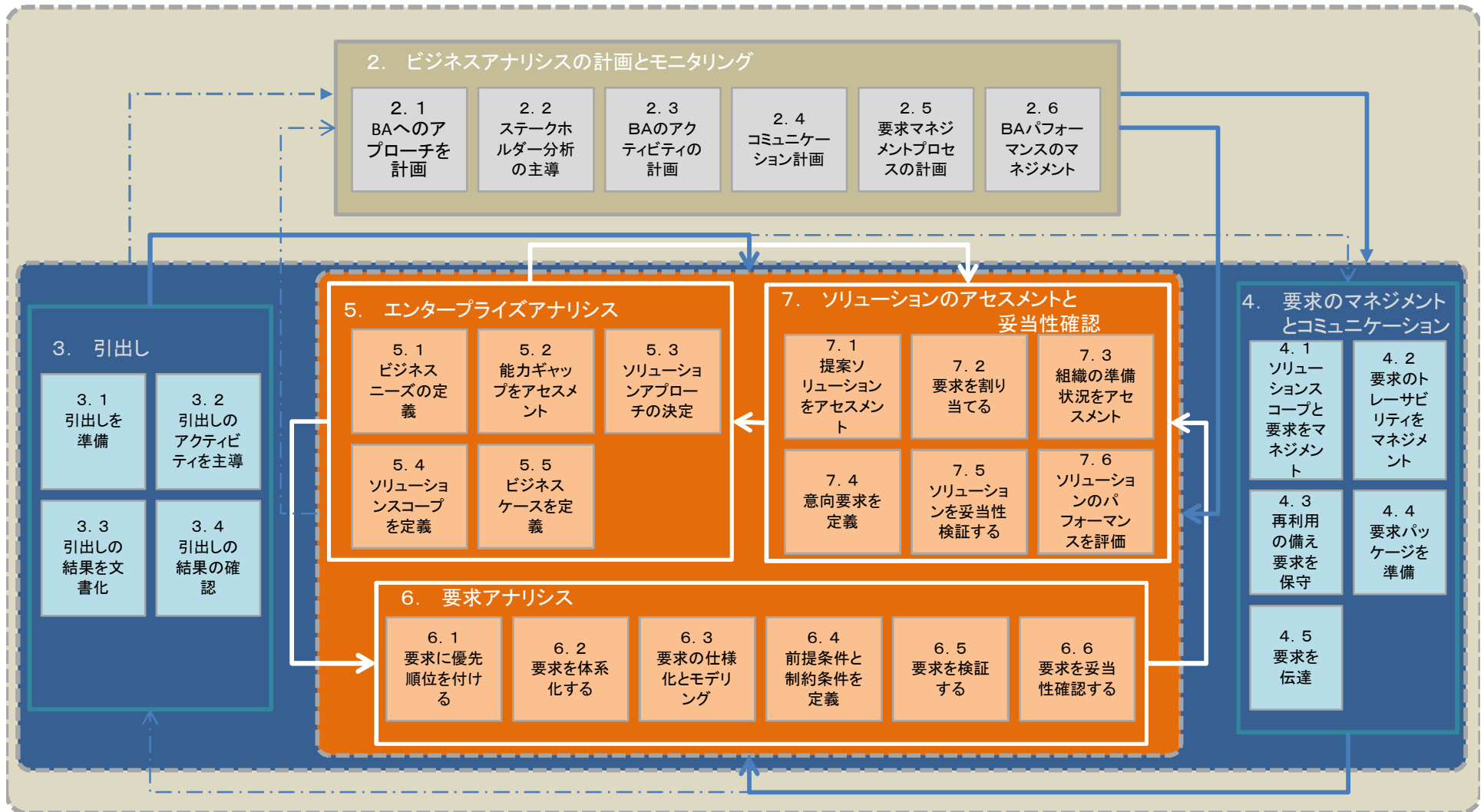


図1-1 知識エリアの関係

体系の概念図として、所属タスクとブロックの関係が説明なくして難しく分かりづらい。

1.3 BABOK 詳細知識エリアとプロセス関係図



* : その他、具体的な「テクニック」が記載されています。



1.4 BABOK 2.0 テクニック

受け入れ基準と評価基準の定義

ベンチマーク

ブレインストーミング

ビジネスルール分析

データディクショナリと用語集

データフロー図(DFD)

データモデリング

決定分析

文書分析

見積もり

フォーカスグループ

機能分解

インターフェース分析

インタビュー

教訓プロセス

メトリクスとKPI

非機能要求の分析

観察

組織モデリング

問題のトラッキング

プロセスモデリング

プロトタイピング

要求ワークショップ

リスク分析

根本原因分析

シナリオとユースケース

スコープモデリング

シーケンス図

状態遷移図

構造化ウォークスルー

調査とアンケート

SWOT分析

ユーザーストーリー

ベンダーのアセスメント



よく使われるテクニックと新たなテクニックが別章で掲載されている点は、最新への保守性面で評価される。



3-2. ワーキンググループの活動体制について - ①

■WGのより効率的な運営

以下の観点から本年度は2テーマに焦点を絞って、ワーキンググループ活動を推進します。

- 具体的な成果物の確実な創出を目指す。
- 牽引力のある幹事の主導の元、WGの活動を活性化する。

■2011年度のWG活動テーマ

- **BAs** : Business Analysis Value Proposition Strategic WG
ビジネスアナリシス価値提案戦略WG
- **BAP** : Business Analysis Process WG
ビジネスプロセスWG
- **BABOK-WG**

3.0 BABOK-WG の活動（2010）

参加したBABOK-WGの2010年度成果物として、初学者向けのQA集をまとめた。これは最終投稿前のQA集の抜粋で最終版は、BARC-NETに掲載されています。

BABOK 2.0 QA集

そうだったのか！ BABOK

～BABOK KNOWLEDGE BASE 48～

48個のQAで、あなたもBABOKがよく分かる！



Q0-1: BABOKを学ぶと、どんなメリットが期待できるのでしょうか？

A0-1: 冒頭の「日本語版発行にあたって」の中にも述べられている様に、要求仕様の曖昧さを排除し、ビジネス目標とIT投資との間の整合性を確保した情報システム構築に寄与できる、というメリットが期待されています。

Q0-2: BABOKガイドは、第1章から順番に読んでいった方が良いでしょうか？

A0-2: BABOKガイドの各章の記述は、それぞれ関連性がありますが、第1章から順番に読んで行かなければ理解できない、というものではありません。目次や索引を活用いただき、必要性の高い、知りたいと思う分野から順番に読んでいき、ある程度の見通しができてきたら、第1章から順番に改めて再読・通読することをお勧めします。

Q0-3: BABOKガイドを入手して読んでみましたが、よく分からず、どのように学習すればよろしいでしょうか？

A0-3: BABOKガイドには、どういうタスクやテクニックがあるか、ということが列挙されているだけであり、それらの具体的なやり方は解説していません。従って、それだけを読んでも、どうすれば良いか、分からない場合が多いと思われます。当FAQ集ではBABOKガイドの各章の理解を深める参考文献を紹介していますので、それらがお役に立つと思います。



Q0-5: BABOKガイドでは、どの章(=どの知識エリア)がいちばん重要なのでしょうか？

A0-5: 全体を通して見ると、第5章、第6章、第7章の3つの章が重要ですが、その中でも特に重要なのが「第6章 要求アナリシス」です。理由は、冒頭の「日本語版発行にあたって」の中にも述べられている様に、BABOKガイドに最も期待される事が「要求仕様の曖昧さを排除する」という点だからです。「要求」を正しく記述する為の準備が第5章で述べている「エンタープライズアナリシス」です。「要求」が正しく記述されれば、第7章で述べている「ソリューション」も正しく設定しやすくなります。

Q0-6: BABOKガイドに書かれていることに準拠すればするほど、ビジネスアナリシスの結果は良くなるのでしょうか？

A0-6: そうではありません。はじめに(1頁の下から6行目)に記述がある様に「本書はどのような状況下でもここに掲載したプラクティスどおりに進めることを命じているわけではない」という点をまずよく理解しておく必要があります。どの様な状況下で、どのタスク、どのテクニックを使うべきか、という適確な判断ができることがビジネスアナリストとしての価値のひとつであると言えます。当ガイドは非常に有益な指針を提示していますが、それらはあくまでリファレンスに過ぎません。IIBA日本支部では、現在のBABOKガイド2.0版を改定し、第3版を作成する作業を、IIBA本部と協力して進めています。



Q3-1: BABOKで言う引き出しとは何ですか？

A3-1: ビジネスアナリストがステークホルダーのニーズと懸念事項をどのように識別し、彼らの置かれた環境を理解するための、4つのタスクを持つ知識エリアです。BABOK原文ではElicitationという単語が使用されており、隠れているものまたは潜在しているものを「誘い出す」「外に出す」や、情報や応答として「呼び起こす」「抜き出す」という意味があります。引き出しのタスクでは、直接ステークホルダーから要求を引き出すインタビュー以外にも、ブレインストーミングや文書分析など様々なテクニックが使われます。

Q6-1: 6章で扱う要求は、既にAs-IsからTo-Beに変換された要求になっていると考えるべきでしょうか。

A6-1: 5章で能力ギャップの分析～ビジネスケースを定義している訳ですから、全ての要求はTo-Beモデルになっている必要があります。このためにビジョンの設定、あるべき姿の共通認識化など十分な検討と基本合意が必要となります。



3-3. BARC-NETの利用について- ②

■BARC-NETで利用できる機能

www.thebarc.org

無償登録制です。
ご参加を！

The screenshot shows the website for the IIBA Japan Chapter Business Analysis Research Committee. The header includes the organization's name and logo. A navigation menu is visible. A sidebar on the left lists various functions, with a red box highlighting the 'BA研究部会' section which includes options like 'ブログエントリを作成' (Create blog entry), 'FAQを作成' (Create FAQ), 'フォーラムトピックを作成' (Create forum topic), 'ドキュメントを作成' (Create document), 'Wikiを作成' (Create Wiki), and 'フォーラム' (Forum). A large yellow callout box on the right contains the following text:

- 年次総会の発表資料等、各種ドキュメントが参照可能(一部制限あり)。
- BARC-NET会員であれば、フォーラム上に自由にトピックを立上げ、様々なテーマについて議論・検討することができます。更にブログによる情報発信も可能。
- BABOK、BAに関するFAQ、Wikiを用意。

4.今後のBABOK について

■ IIBA日本支部では、普及と認知度向上のため、種々の活動が展開されています。以下、サイトをご参照ください。

IIBA日本支部

<http://www.iiba-japan.org/>

IIBA日本支部 研究部会コミュニティサイト BARC-NET

<http://www.thebarc.org/>

IIBA本部

<http://www.iiba.org/AM/Template.cfm?Section=Home>

- IIBA本部では、BABOK Version3.0 作成委員会が動き始めています。
- IIBA日本支部 研究部会では、それぞれ活発な活動が行われています。所属する BABOK-WGでは、2011年度以下に例示する推進時の「診断チェックシート」を開発中です。



5.1 BABOK-WG BABOK 推進チェックリストの作成（開発中の素稿）

（掲載省く）





ご清聴、ありがとうございました。

ITコンサル&デザインラボ株式会社

村田茂之 mail (smurata@condlabo.jp)

